



## 第 22 号

平成22年(2010年)8月25日(水)発行  
発行元:みやげじま『風の家』  
発行責任者:坂上 幸一郎  
東京都三宅島三宅村阿古532-1  
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所後付)  
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471  
E-mail:miyake\_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。

多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。

ただそれだけを見つめて…

### !(^)! 猛暑・酷暑がつづいています!

『お盆』や『盆踊り』『マリンスコーレフェスティバル』も通り過ぎて、普段の島の様子に戻ってきましたね。

『風の家』もお盆休みが明けて、通常の運営がはじまりました。『風の家』というだけあってか、暑い中ですがさわやかな風が吹き抜けるととても気持ちの良いお盆明けを迎えています。

引続き多くの方々に足を運んでもらえる『家』として活動していきたいと思っておりますので、お近くにお越しの際にはお気軽にお立ち寄りください。皆さんのお越しをおまちしていま〜す(^)/



### (^J) “キラキラ”と輝いて

8月18日(水)、「みどり体験交流～三宅島キッズサマースクール2010」に東京都内各地から参加された20名の子供たちが訪ねてくれました。

『風の家』ボランティアと、昼食を一緒にとりながら“噴火の体験”や“島の暮らし”などをお喋りしながら楽しい昼食をとりました。



『三宅島で起こった噴火災害』のなかであった様々な出来事について、お話をさせていただいたり、一緒に映像を観たりという時間を過ごしました。

子供たちは、皆真剣に目を耳を傾けて、活発に質問も飛び出しました。『島を離れるときはどんな気持ちでしたか?』『噴火は怖くありませんでしたか?』

皆さんならどうお答えしますか?それぞれにたくさんの思いを起こさせてくれる子供からの率直な質問でした。そして最後には、全員で『ピリープ』という歌を元気よく歌って、とても良い交流が持てました。

『風の家』の私たちも、たくさんの元気と明るさをもらいました。みんな、ありがとう。



# 帰島5周年記念『感謝と交流のつどい』

三宅村役場からのチラシや、商店さんなどに貼られているポスターなどでもご案内通り、来る9月4日(土曜日)5日(日曜日)にかけて『帰島5周年記念～感謝と交流のつどい～』が開催されます。

会場は旧阿古小中学校の体育館とその周辺を活用して行われます。

9月4日(土曜日)については、午前10時30分から午後3時までです。島の郷土芸能や、島の料理なども用意されて、終日に渡ってどなたでも入場していただけます。



噴火が起こったあの夏から10年間、私たちを支えていただいたたくさんの方々は、4日の朝、三宅島に到着されます。

『旧三宅島支援センター』そして『風の家』の活動に共にお力を注いでいただいた方々や『赤い帽子のボランティアさん』もこの機会に来島されます。

広くたくさんの良い交流が持たれる、「三宅島」にとっての記念すべき時となります。懐かしい方々との再会の時です。感謝気持ちを込めて、島にくらす私たちみなでお迎えしましょう！

## !(~)! 休館のご案内

都合より、右の通り『休館』とさせていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。

## 『休館期日』

■ 9月10日(金曜日)

## (^o^ ) どうぞお気軽にお出で下さい



『風の家』では、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、お待ちしております。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。

目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「くらし」の中でとても大切なものだから…

ぜひ、お気軽にお声かけください。

